

2002年4月26日

**参考配布資料**

「あいおい損害保険が次世代Web型代理店システム共同開発への参画  
について日本興亜・安田火災と合意」

～一部代理店向けシステム開発のスピードアップ、コストシェア・削減を目標に～

あいおい損害保険株式会社(社長 瀬下 明)は、「次世代 Web 型代理店システム」の共同開発・共同運用に参画することについて、日本興亜損害保険株式会社および安田火災海上保険株式会社と合意し、2002年度第一四半期からの共同開発に向けて、準備を開始いたしました。

当社では、専業代理店や自動車販売店等のチャンネルに最適な独自代理店システムを提供する計画を進めておりますが、他の重要チャンネル向け代理店システム開発のコストシェア、期間短縮等の視点から今般共同開発への参画を決めたものです。

<共同開発参画に至った経緯>

2001年4月千代田火災と大東京火災の合併により誕生したあいおい損害保険は、トヨタ自動車との連携のもと、お客様に一番近い損害保険会社を目指して商品内容の充実や顧客サービスの拡充に向け取組んでおります。これまでも自動車保険に強い会社として、車両衝突実験の実施による独自車両保険の開発や、業界最大規模のコールセンターを活用した各種サービスの提供など、さまざまな分野で競争的先行投資を行ってまいりました。

一方、保険料率の自由化を背景とした競争激化の中で、損害保険業界共通の課題の一つが経営効率化であり、特に総事業費の中でもかなりの割合を占めるIT投資の増大が、合併会社である当社にとっても大きな経営課題となっております。ITを用いた社会インフラ整備の急速な進展は、多種多様な顧客への対応を行う保険会社にとって継続的なIT投資が必要となることを意味し、本分野での事業費負担は今後も相対的に高まる傾向にあります。

当社では、数多くの代理店に支持されております保険会社の一部事務の代理店委託を可能にする独自の専業代理店向けシステムの提供や、自動車販売店向け個別システム開発など従来の販売活動支援を今後も更に展開していく計画を有しています。一方、他の重要チャンネルへの早期支援強化も大きな課題となっていることから、日本興亜損害保険および安田火災海上保険が行う「次世代Web型代理店システム共同開発・共同運営」に参画することとし、両社の合意を得て、共同開発に向けた準備を開始しました。これにより、開発期間の大幅な短縮とともに、「次世代Web型代理店システム」の開発・運用コストを、大幅に圧縮できる方向です。

今後、両社と代理店システムの共有化・共通化に向けた詳細検討を集中的に行い、約1年間の開発期間を経て、2003年度第一四半期の稼働を目指して行きます。